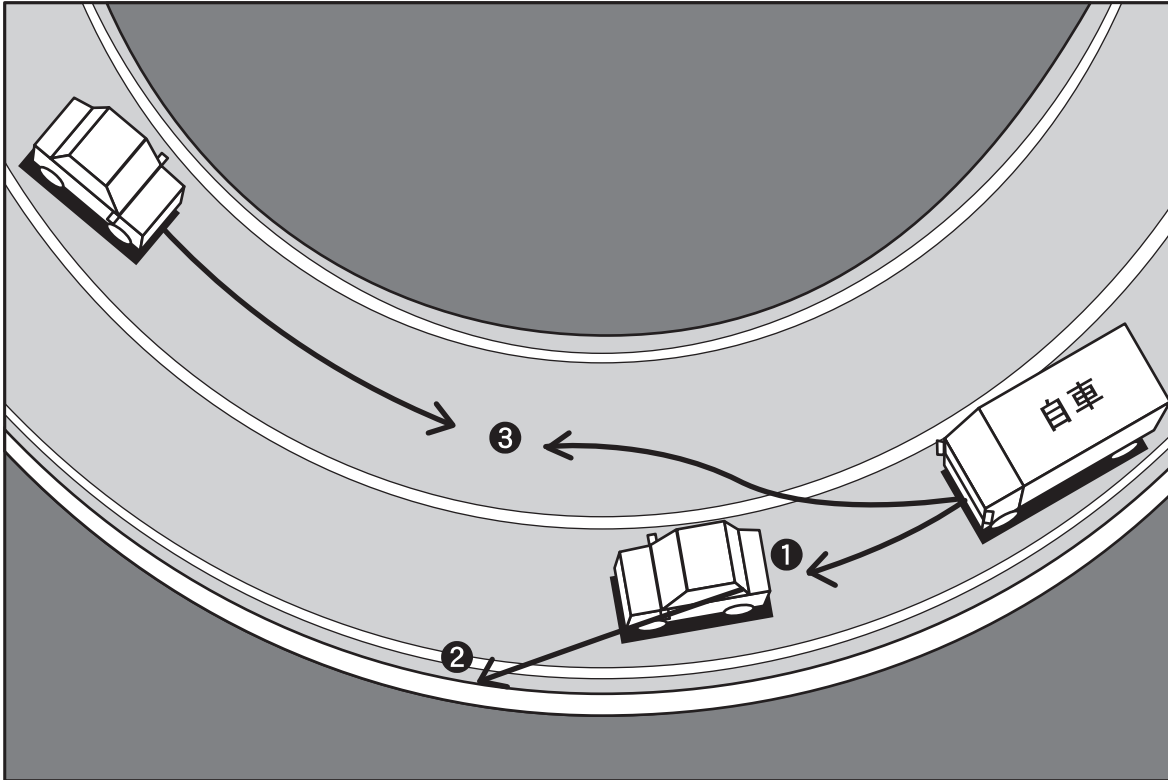


〔トラック3〕 下り坂のカーブを走行



1．主な危険要因の例

- ① 前車がカーブの途中で減速すると追突する危険がある。
- ② スピードを出して走行すると、カーブを曲がりきれずに路外逸脱し、ガードレール等に衝突したり、急ハンドルを切って横転する危険がある。
- ③ センターラインをはみ出すと対向車と衝突する危険がある。

2．安全運転の例

下り坂はスピードが出やすいので、エンジブレーキを活用してスピードを抑えて走行する。

カーブの手前では、スピードを十分に落とす。

カーブの途中でハンドルとブレーキの同時操作をすると、スリップしたり横転する危険性があるので、同時操作をしない。

カーブではセンターラインをはみ出さないように注意する。

3．乗務員指導のポイント

下り坂では、あらかじめシフトダウンをするなどしてエンジブレーキを活用して走行するよう指導する。

* 排気ブレーキが装着されている場合は、排気ブレーキを活用する。

カーブの走行について、次のような点を指導する。

- ・カーブの手前で必ずスピードを落とすとともに、センターラインをはみ出さず、車線を守って走行する。
- ・カーブの途中でブレーキ操作は極力しない。また、ハンドルとブレーキの同時操作をしない。